

二松学舎大学 ニュース IR

News IR

I R（Institutional Research/インスティテューショナル・リサーチ）は、大学組織において何らかの決定を行う際に、それをサポートするための情報収集と分析を意味します。

二松学舎大学では、大学の機関活動に関するデータ収集・分析を行い、大学がどのような課題を抱えているのか、その課題はどのような要因と関連しているのか、今後どのような意思決定を取り得るのか等を客観的に把握し、政策形成・意思決定を支援するための活動を行っています。

2023年度 1号 (NO.15)

Contents

- ◆ PROGテストの実施について 1
- ◆ 二松学者憲章 5

◆PROGテストの実施について

本学では、2017年度から、1・3年次生を対象として、大学卒業生として社会に求められる汎用的な能力・態度・思考（以下、ジェネリックスキル）の育成を目的に、「リテラシー」と「コンピテンシー」の両面からジェネリックスキルを測定するツール【PROGテスト】を導入して実施しています。

2022年度は、4月11日（月）～5月10日（火）に、web形式で実施しました。

学部	学年	受験者	（受験率）	在籍者数
文	1年	415名	(79.7%)	521名
国際政治経済	1年	194名	(76.1%)	255名
文	3年	286名	(60.9%)	470名
国際政治経済	3年	137名	(60.4%)	227名
合計		1032名	(70.1%)	1473名

リテラシーとは、知識を活用して実践的な問題を解決する力を意味します。PROGでは、設定された状況や文脈の中で、文章や資料を読解したり計算したりするように工夫されており、自らの経験を活かした解釈や判断が問われる問題となっています。

コンピテンシーとは、自分を取り巻く環境に働きかけ、実践的に対処する力です。PROGでは、実社会で活躍する若手リーダー層の行動特性のデータと比較することで、実社会で通用する「周囲に働きかけ対処する力」を計測するよう設計されています。

学生の手元に届くPROGの個人結果報告書は、数値結果とイメージグラフィックで可視化され、学生が読みやすいよう、かつ自己理解を深められるように記載されています。

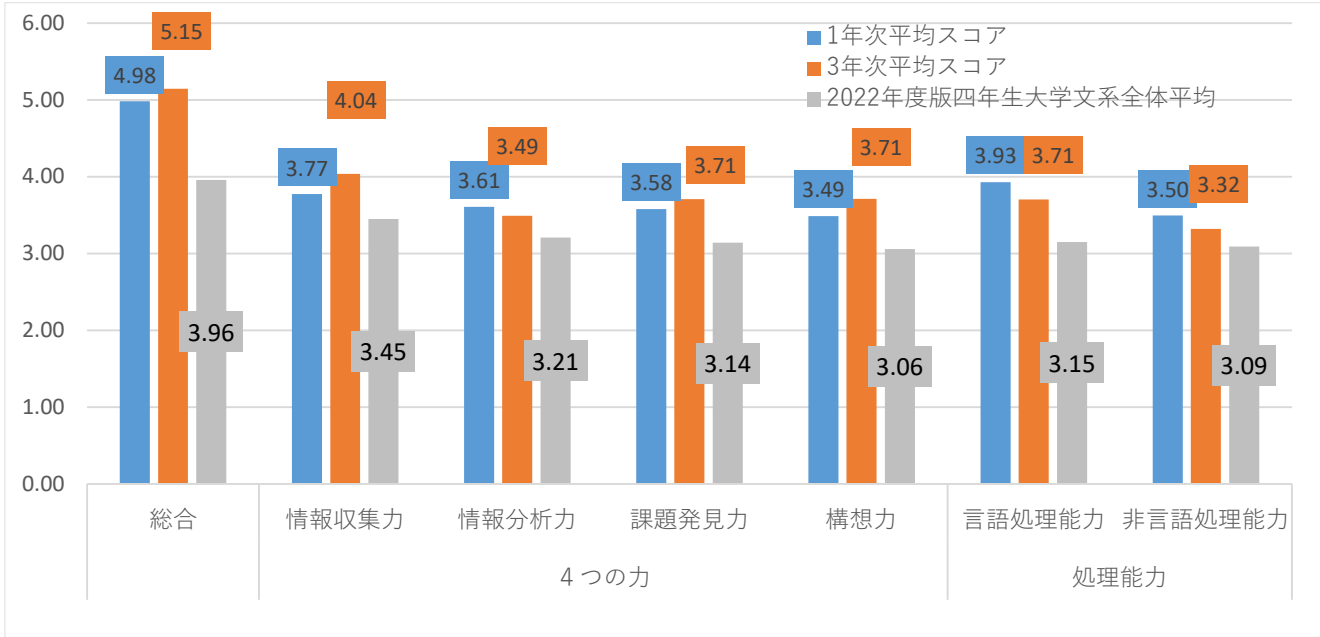
● 2020年度入学者に対して実施したPROGテストの受験学生について、1年次時点（2020年度）と3年次時点（2022年度）の両方を受験した学生を抽出し、各項目で平均スコアの経年比較を行いました。

両学部で、リテラシーの平均スコアは全国文系四年生大学の平均スコアより高いスコアを示しました。文学部では、1年次から3年次にかけて、「総合」「情報収集力」「課題発見力」「構想力」で成長がみられました。国際政治経済学部では、「情報収集力」「情報分析力」「課題発見力」で成長がみられました。処理能力の分野では、国際政治経済学部で言語処理能力が増加しました。

リテラシーは『知識を活用して実践的な問題を解決する力』であり、授業・ゼミ、サークル活動、就職活動の経験によって、今後これらの能力が向上する可能性が考えられます。

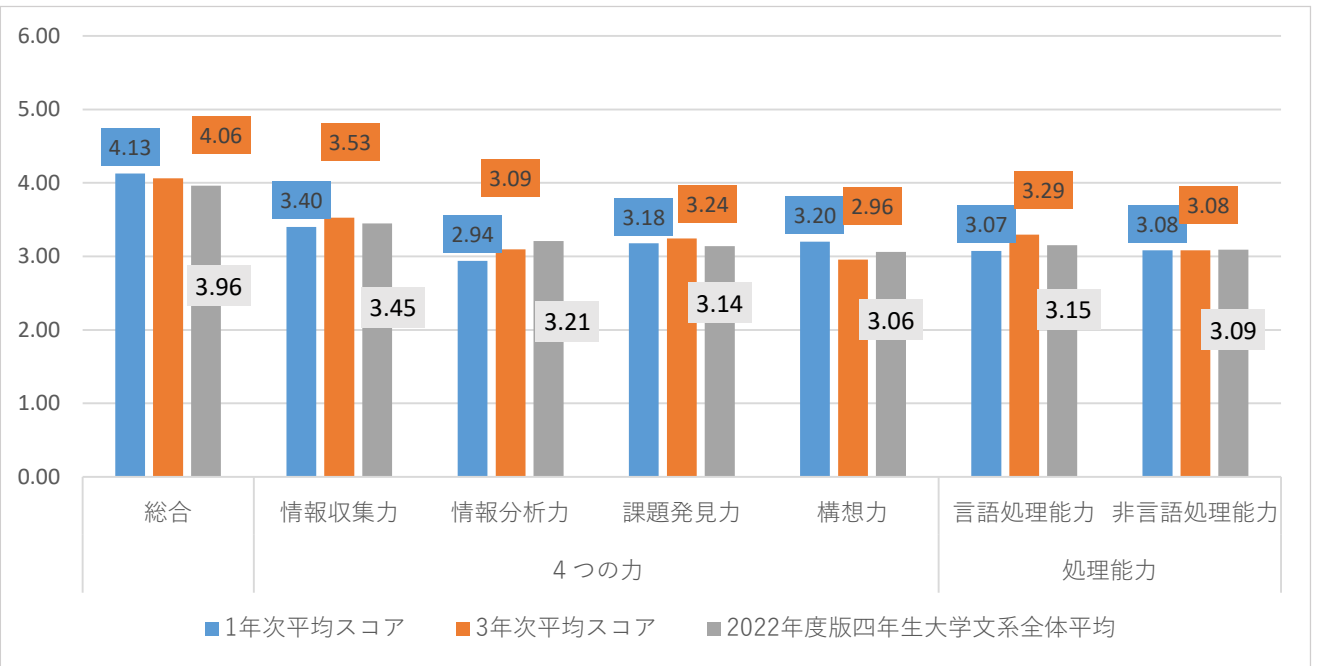
▲ 文学部のリテラシー 総合評価と3つの力の平均スコア

測定数：リテラシー：217 最高スコア：7（処理能力のみ5）



▲ 国際政治経済学部リテラシー 総合評価と3つの力の平均スコア

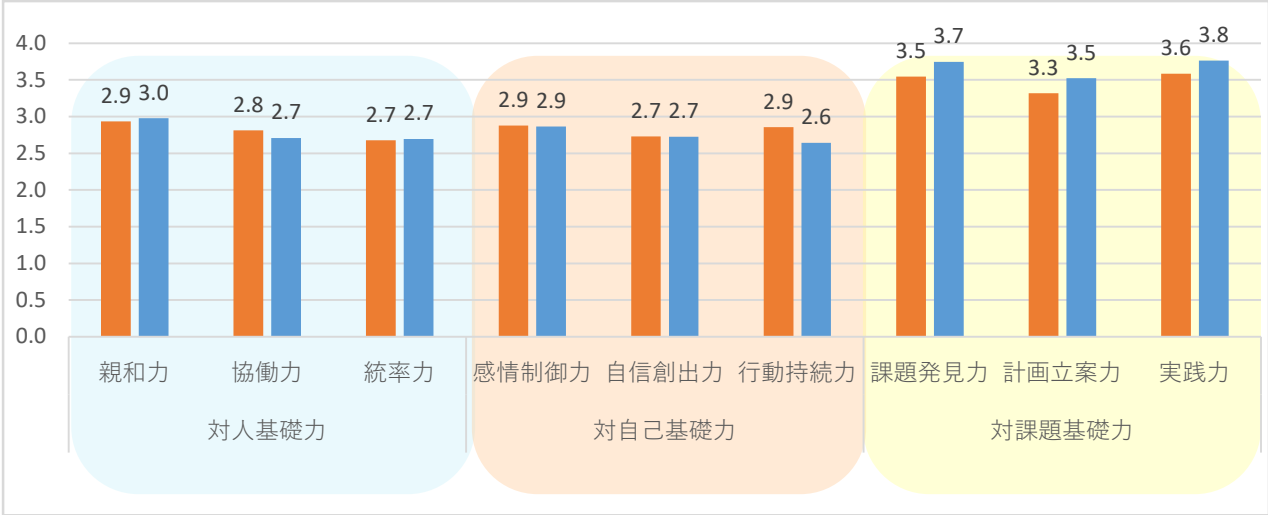
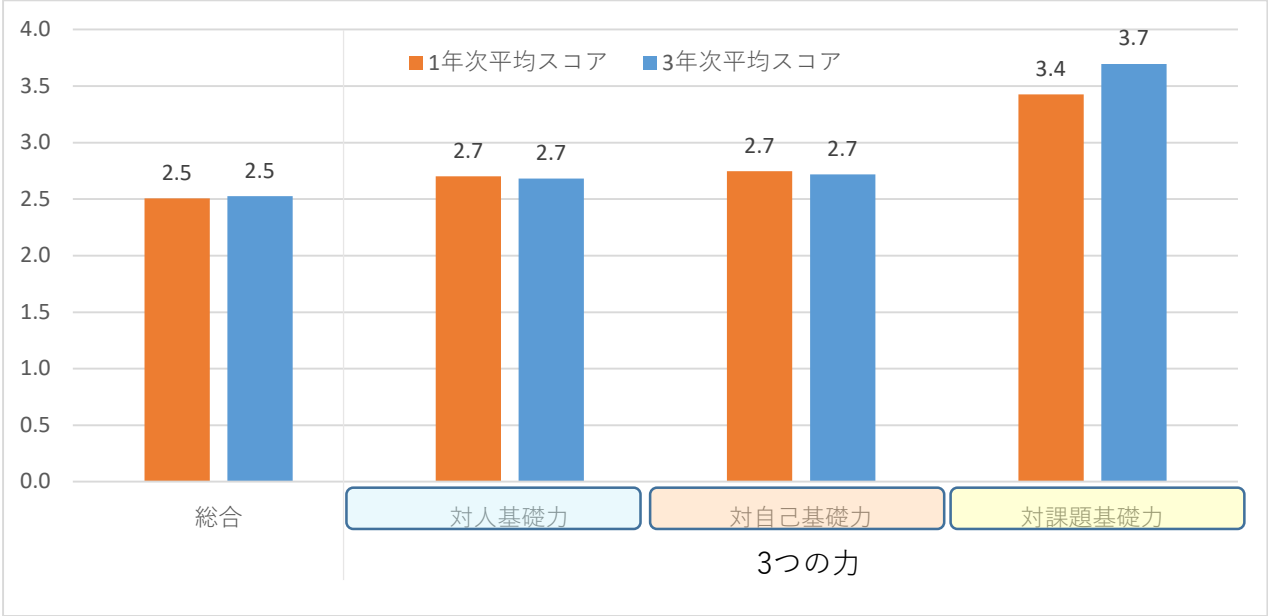
測定数：リテラシー：95 最高スコア：7（処理能力のみ5）



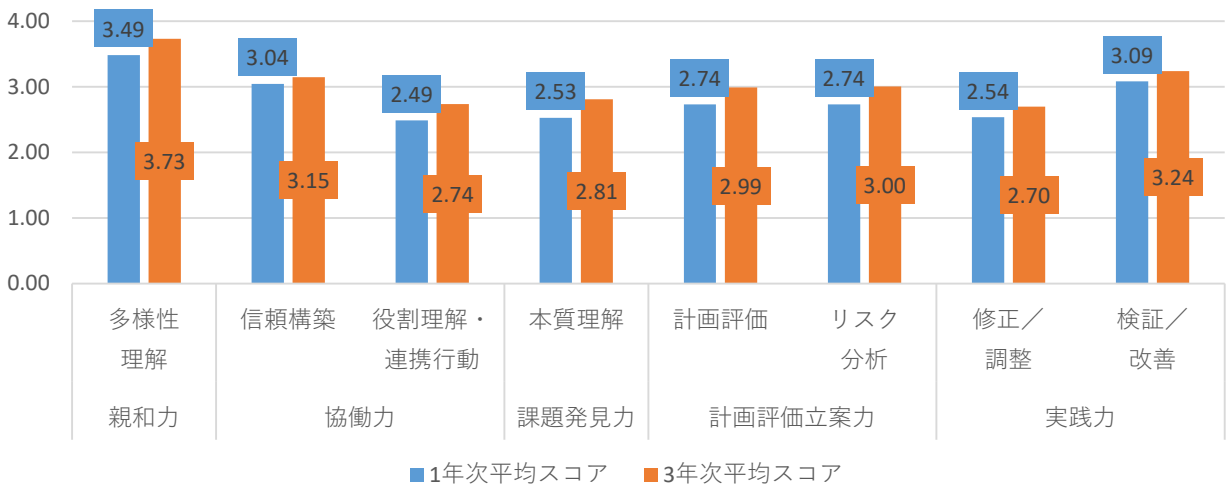
●コンピテンシーについては、その評価項目を構成する3つの要素とその総合評価の経年比較、そして3要素について各要素をさらに細分化した9つの要素の平均スコアを比較しました。

▲ 文学部コンピテンシー総合+3つの力

測定数：コンピテンシー：195 最高スコア：7
※両学年時点での受験者のうち、コンピテンシーの質問項目にすべて回答した受験者を対象としています。



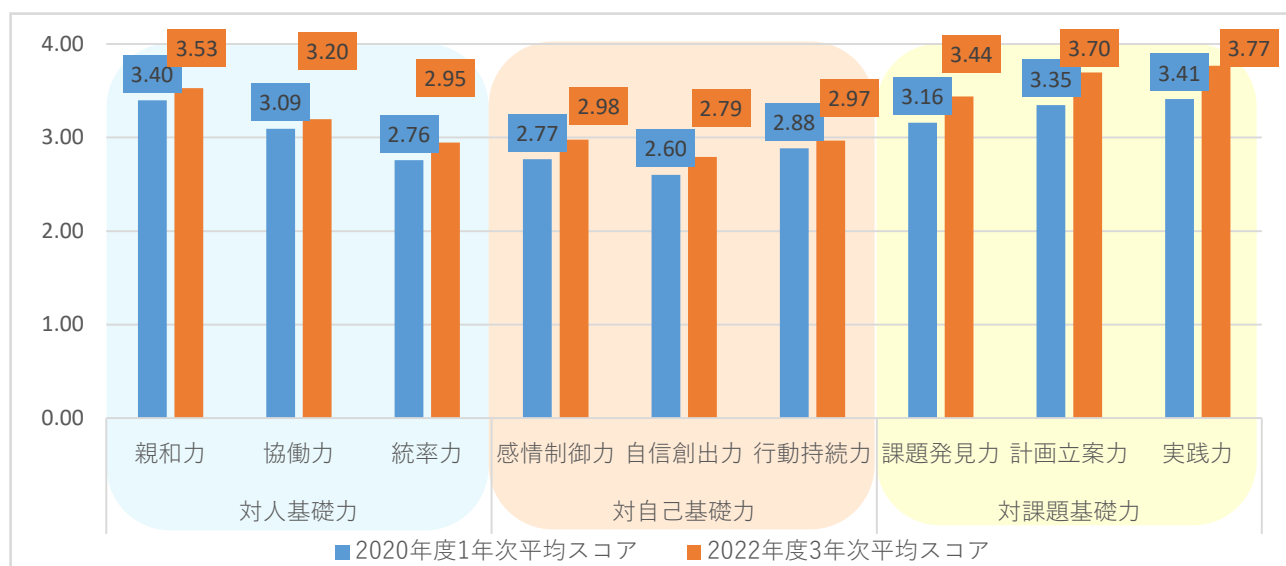
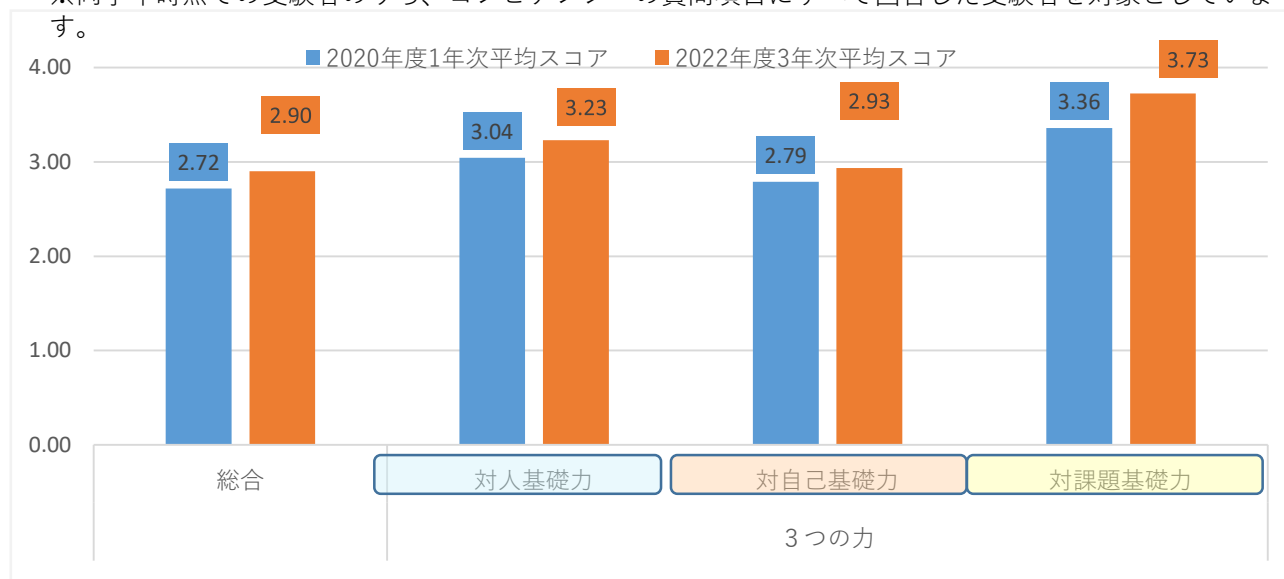
▼ 9つの構成要素をさらに細分化した33の要素の経年変化では、以下のような要素で増加がみられました。



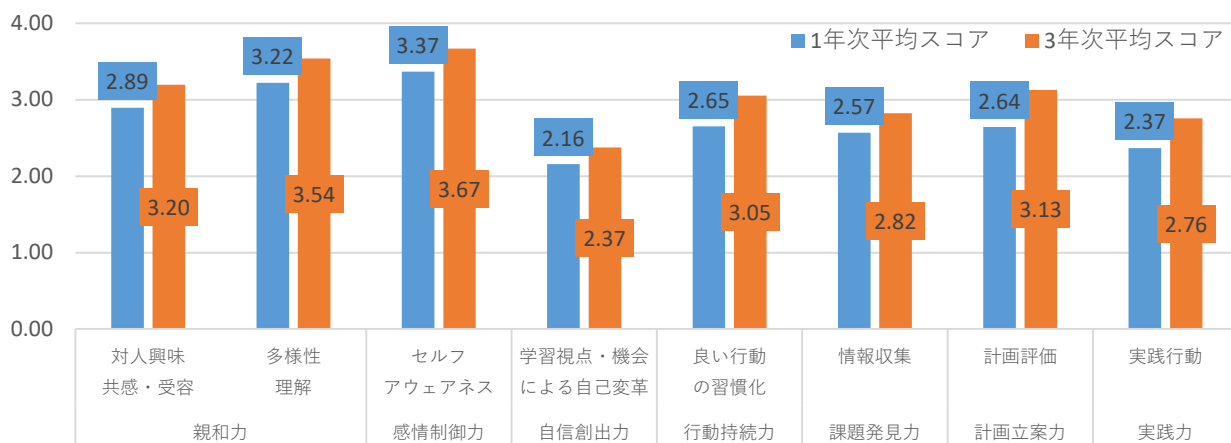
▲ 国際政治経済学部コンピテンシー総合+3つの力

測定数：コンピテンシー：81 最高スコア：7

※両学年時点での受験者のうち、コンピテンシーの質問項目にすべて回答した受験者を対象としています。



▼ 国際政治経済学部では、「総合」「3つの力」のすべてで平均スコアの増加がみられました。コンピテンシーの3つの力はさらに9つの要素へ細分化でき、いずれも平均スコアの増加がみられました。



- 9つの構成要素は、さらに33の要素に細分化でき、文学部の学生の平均スコアでは、「多様性理解」、「信頼構築」、「本質理解」、「計画評価」、「リスク分析」、「修正・調整」、「検証・改善」にスコアの増加がみられました。
- 国際政治経済学部学生の平均スコアでは、「対人興味・共感・受容」、「多様性理解」、「セルフアウェアネス」、「学習視点・機会による自己変革」、「良い行動の習慣化」、「情報収集」、「計画評価」、「実践行動」にスコアの増加がみられました。
- いずれも授業・ゼミやサークルなどの課外活動、就職活動など様々な家機縁を通じて能力を高めたと考えられます。
- PROGテストで測定できるジェネリックスキル（社会人基礎力あるいは学士力）は、大学での授業・ゼミ、サークルやボランティア、アルバイトなどの課外活動、就職活動などを通して、その能力を向上させていけると言われています。
- 現段階での評価を見据え、経験を強みにとらえていくきっかけとして、自分自身が享受する学びや経験をどう生かして行動していくのか、ということについて考える機会となります。

二松学舎大学では、学生のさらなる成長に寄与するため、授業をはじめとし、学生支援体制や課外活動をより充実させ、これらの機会を創出していきます。

【二松学舎憲章】

<建学の精神の発揚>

- ・教職員は、建学の精神「東洋の精神による人格の陶冶」、「己ヲ修メ人ヲ治メ一世ニ有用ナル人物ヲ養成ス」の発揚に努めます。

<教育・研究の目標達成>

- ・人材育成のため、自らその体现者となるべく、自己研鑽に努めます。
- ・法令及び学則を順守し、道徳心と倫理観を持ち、職務に当たります。
- ・現状を把握し、自ら課題を見つけ、教育・研究の質の向上に努めます。

<学生生徒支援>

- ・教職員一人一人が、学生生徒の人格と人権を尊重します。
- ・教育・研究の充実に常に努め、教育・研究環境の整備を行い、学生生徒の満足度向上を目指します。

<社会貢献>

- ・教育・研究活動を通じて、地域社会への貢献に努めます。
- ・社会情勢に常に目を向け、国際社会と世界平和に寄与します。

【発行主体】

二松学舎大学
大学改革推進部 I R推進室
〒102-8336 東京都千代田区三番町6番地16

TEL (03)3261-1285
FAX (03)3261-7413
[E-mail] gakumu@nishogakusha-u.ac.jp